

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2024. 6
No.370

熱意

(稲盛和夫「考え方」より)

人生や経営では、
百メートルダッシュのスピードで
走り続けることは、
決して不可能なことではないのです。

誰にも負けない努力をする

(稲盛和夫「考え方」より)

人生において安易に楽な道を選ぶので
はなく、誰にも負けない努力とほとばしる
ような熱意を持って、一日一日をど真剣に
走り続けていただきたいと思えます。

「イナテックの仕事においても『まあいいや』
とか『これくらいでいいや』等々考えてしま
うことがよくあります。相手(ex.部下)の顔
が見えてしまった時など、グラツと心が揺れ
動くものなのです。

「そこでもう一度『何が大切なのか』『今何を
せねばならないのか(優先順位)』等々考えて
いただきたいと思います。何もかもできるわ
けがないのです。

しかし、稲盛さんの言われる『熱意』を持っ
てど真剣に走り続けることで、必ずや良い結
果が出ると私は信じ行動しています。私も人
間です。心が折れそうになることもあります
がやるしかないのです。必ず明るい未来はや
つてきます。

誠実であること

—正しいことを正しいままに追求する

真摯

(稲盛和夫「考え方」より)

常に正しい道を踏み、
誠を尽くして

仕事をしていかなければなりません。
相手に迎合げいごうしたり、

「うまく世渡りできるから」といつて
妥協するような生き方をしてはならない
のです。

いかなる障害があろうとも、
自分に正直に生きる

(稲盛和夫「考え方」より)

人間というのは、息詰まると、良心では
決してよくないとわかっていても、「この
くらいはいいだろう」と、つい悪いことを
してしまいます。極端な場合、「結果よけ
ればすべてよし」などとうそぶき、自分を
納得させ、悪事に手を染めてしまいます。
常に正しい道を踏み、誠を尽くしていかな
ければなりません。

イナテックの仕事の中でも、つい手を抜いてしまったり、ルールを守らなかったりすることもあります。そこで危険なのは、たまたま良い結果になる時があることです。するとそれが常となり、ひいては重大な問題につながってしまうのです。

これが今、新聞紙上で問題になっている自動車メーカーの品質問題なのです。

「これくらいなら大丈夫」これが危ないのです。科学的に証明された事なら良いのですが、たまたま良かった結果におぼれてしまうと、会社や自分を破滅に追い込むことになり

ます。
稲盛さんの言われる、「どんなに難しい局面に立つても、正道を貫き通す、つまり人間として正しい考え方を貫く真摯な生き方をするべきである」ということです。

『人間として正しいかどうか』

(稲盛和夫「成功」と「失敗」の法則より)

- ・嘘をついてはいけない
- ・人に迷惑をかけてはいけない
- ・正直であれ
- ・欲張ってはいけない
- ・自分のことばかり考えてはならない

皆さん、迷ったときや悩んだときこの五項目を使って自分の心と行動をチェックして下さい。

「人間として何が正しいのか」と自分に問い、正しいと信じる道を貫き通す。困難なことではあると知りながらも、正道を愚直に貫く。そのような真摯な姿勢は、一時的には周囲の反発を買い孤独を招くかもしれませんが、しかし、人生という長いスパンで見ると必ずや報われ、実りある成果をもたらしてくれるはず。そのことを信じて、妥協しない生き方を選ぶことが大切です。

原理原則に基づいた判断

『人間としての原理原則』

(森田直行「課長の心得12ヶ条」より)

- ・人のものを盗まない
- ・嘘をつかない
- ・人を騙さない
- ・約束を守る
- ・弱い者いじめをしない

この原理原則も、いつでもどこでも使えるもので、どんな時にも当てはまる非常にシンプルでわかりやすいものです。

たとえば、

品質不良(嘘をついた)

納期遅延(約束をやぶった)

標準不遵守(弱い者いじめ)つまり守りにくい標準を無理に押し付ける)

など、イナテック社内でも身近にある事象ばかりです。自分自身の「心のチェックシート」として使ってください。

茶根譚後集

101

人心一眞、便霜可飛、城可隕、金石可貫。若偽妄之人、形骸徒具、眞宰已亡、對人則面目可憎、獨居則形影自媿。

人のまごころから出た一念は、夏にも霜を降らすこともでき、城壁を崩すこともでき、金石を貫き通すこともできる。(これに反して)、偽りばかりの人間は、肉体だけは備わっていても、肝心の魂はなくなっているのです。人に対する顔つきも憎らしいので嫌われるし、独りでおるときは自己嫌悪に陥るにちがいない。

2
